

保護者の皆さまへ



本

でつなごう



親子のコミュニケーション

親子で楽しむ 読書タイム



子どもは、お父さんやお母さんや家族の声が大好きです。家族のぬくもりを感じながら、絵本を読んでもらったり、わくわくする本のお話を聞いたりすることは、生涯心に残る宝物です。親子で「本の時間」のある子育てをしてみませんか。



鳥取県教育委員会



読み聞かせて 親子のコミュニケーションを

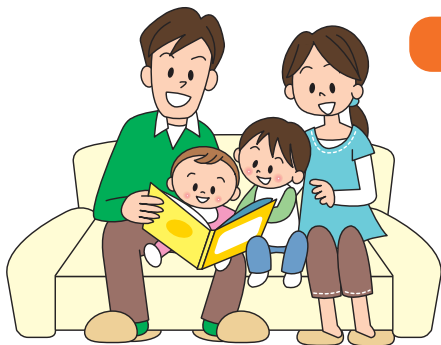
1日わずかな時間でも読み聞かせて親子がふれあう時間を作りませんか？
子どもたちは、繰り返し絵本を読んでもらったり、一緒に物語を楽しむ大人がいることによっておはなしの楽しさや愛情を感じていきます。
親にとっても、子どものすてきな表情を通して、子育ての楽しさを感じることができます。



● 読み聞かせのはぐくむもの ●

✿ 「こころ」と「ことば」を育てます

子どもは、家族のあたたかな声の響きとぬくもりを感じて満足し、人と言葉で気持ちを通わす喜びを感じます。ことばを学ぶことで考える力が育ち、人にかかわろうとする気持ちが育ちます。



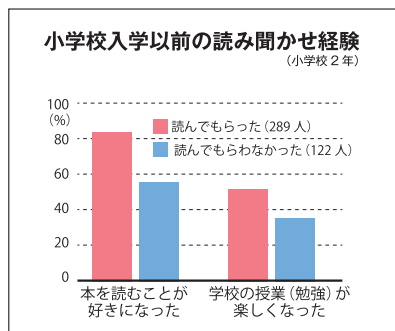
✿ 家族への信頼が深まります

絵本や本を通してふれあう時間は、親子にとって楽しいひとときになり、子どもの家族への信頼が深まります。

子どもはどんどん成長します。
絵本やおはなしを子どもと楽しむ時間を大切にしましょう。

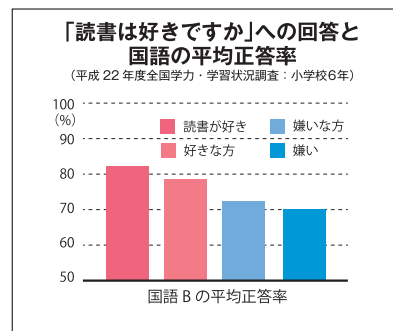
✿ 学ぶ力の基礎をつくります

本がつくる言葉の世界にふれることは、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにし、学ぶ力の基礎をつくります。



「子どもの読書活動に関する評価・分析事業報告」
(2010年3月 財団法人文字・活字文化機構)

小学校入学以前に家庭で読み聞かせを
してもらった子は、読書への興味が高く、
学校の授業を楽しく感じています。



「平成22年度全国学力・学習状況調査」
(文部科学省)

読書が好きなおはなし児童は、小学校でも中
校でも国語と算数、数学の平均正答率が
高い傾向がみられます。

● 読み聞かせを楽しもう ●

0～2歳頃 … 親子の遊びのひとつとして始めましょう

「わらべうた」やリズムカルなあやしことばと同じように、絵本を仲立ちにして笑顔や心地よい音声のやりとりを楽しみましょう。

おすすめの絵本

- ・子どもの好きなものがのっている
- ・身近な動物や植物が登場する
- ・生活の中のことばにふれている
- ・ことばや音のくり返しがある



子どものまなざしやしぐさに関心を示すことが成長につながります。

楽しみながら、子どもは言葉を吸収しています。

2～6歳頃 … ことばやジャンルを広げましょう



会話ができるようになってくると、言葉の数が増えていきます。いろいろな実体験を大切にしながら、絵本や本のジャンルを広げていきましょう。また、文字を覚えはじめても、読み聞かせは続けましょう。お話を聞くことで絵本や本の世界に引き込まれていきます。

おすすめの絵本や本

- ・昔ばなし
- ・物語・童話
- ・科学絵本
- ・生きもの図鑑など



図書館や園からの貸出しやお話し会を利用すると、いつもと違う楽しさが発見できます。

どんな絵本が好きか幼稚園・保育所の先生に聞いてみるのもいいですね。

6歳以上 … 家族で「本の時間」をつくりましょう



食事の時間のように家庭に「本の時間」をつくりましょう。テレビやゲームに時間をうばわれると、家族の団らんや会話も減ってきます。「本の時間」をつくり、子どもが感じたり考えたりしたことに耳を傾け、親子の会話のきっかけにしてみましょう。

お父さん、お母さんが子どもの頃に読んでおもしろかった本について子どもに話をするのもいいですね。

親子で一緒に図書館に出かけてみよう

様々なジャンルの本と出会うことで、子どもの興味・関心が引き出されます。どんな本がいいか困ったときには、図書館の司書に相談したり、ブックリストを参考にするといいですね。

鳥取県立図書館のおすすめの本の紹介リスト

鳥取県立図書館 おすすめの本

検索



Q1

自分で文字が読めるようになったら、読み聞かせをやめてもいいのでしょうか？

A 字が読めることとおはなしがわかることは別のことです。文字が読めても、おはなしを楽しめるとは限りません。ひとりで本が読めるようになって、おはなしを聞く喜びは別のもです。また、子どもはおはなしを楽しんでいるだけでなく、読んでくれる大人との関係も楽しんでいます。



Q2

読んであげているばかりでは、自分で読まなくなるのでは？

A 読み聞かせとは、子どもにとって「本ってすごく楽しい」と肌と心で感じてもらうためのものです。親が読み聞かせをしてあげることで、絵本の持つ楽しさ・感動などが子どもの心に伝わります。そして、本の楽しさを知った子どもは、進んで本を読み始めるでしょう。



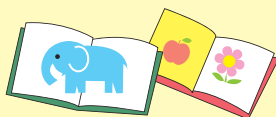
読み聞かせに関するQ&A



Q3

同じ絵本ばかりを読んでと持ってきますが、いいのでしょうか？

A お気に入りの本ができることは、いいことです。親にとっては、同じ本でも、子どもは、読むたびに新しい発見をし、内容を深めているのです。同じ絵本を何回も続けて読むことは、読書の世界をせばめているのではなく、本当の本好きになる第一歩です。



Q4

わが子はテレビやゲームに夢中で本に興味がありません。本好きになるいい工夫はないのでしょうか。

A テレビやゲームにのめり込むと、子どもの心の成長に影響を与える可能性があります。まず、家族で話し合っ、1週間に1日だけでもノーテレビデーをつくり、一緒に本を読んでみてはどうでしょうか。また、寝る前などの読み聞かせを毎日の習慣にすると、子どもは本の楽しさを感じるようになるでしょう。



研修会に「子ども読書アドバイザー」を派遣します！



読み聞かせの方法や本の選び方などについて学んでみませんか。「鳥取県子ども読書アドバイザー」を子育てサークルや幼稚園、保育所、小学校の保護者会などに派遣しますので、ご活用ください。

アドバイザー派遣など子どもの読書に関する情報を掲載しています。

鳥取 子ども読書

検索

4月23日は「子ども読書の日」

「子どもの読書活動推進法」では、4月23日を、「子ども読書の日」と定めています。この日から5月12日までを「子ども読書週間」といい、この期間には、公立図書館などでおはなし会などのイベントが実施されます。

鳥取県教育委員会 家庭・地域教育課
〒680-8570 鳥取市東町1丁目271番地
☎ 0857-26-7943